

直売所における販売促進支援

実施部所：農業技術センター横浜川崎地区事務所

実施期間：平成28年～令和2年

背景・課題・きっかけ

- JA直売所では、安心・安全や多様な品目への顧客ニーズの高まり
- 新しい作型・品目の導入や安全・安心な農産物の生産に向けたGAP(注)の推進が必要
- 13あるJA直売所の発展を図るため、平成27年度に横浜農協直売連絡協議会が設立

(注)GAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)
農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組

活動内容

- 直売所出荷者に対して、ビーツ等の新規品目や作付時期を変更した夏まきエンドウ、果菜類の少ない時期の販売を狙ったスイートコーンの抑制栽培について播種時期や品種の選定を指導し、5年間で13品目導入
- 横浜市瀬谷地区でハウス栽培されている軟化ウドは遮光資材の利用方法やブランド登録を支援
- 当所が監修したGAPチェックシートを使い、JA横浜と連携して現地指導や現地研修会を実施



結果・成果

- 令和2年度の直売所年間販売金額は平成27年度に比べて11%増加
- 令和3年3月に軟化ウドが「横浜瀬谷うど」として、かながわブランドに登録
- 151戸の生産者がGAPチェックシートによる生産管理向上の取組みを実施